社外取締役メッセージ



社外取締役
佐野 精一郎

2007年6月 三洋電機株式会社代表取締役社長、2011年4月 パナソニック株式会社（現 パナソニックホールディングス株式会社）専務役員、2016年6月 同社顧問、2017年6月 当社取締役（現任）

当社の取締役会は、社外取締役が発言しやすい環境にあり、各議案について活発かつ詳細な議論がなされています。一方、物価高などにより事業環境が厳しさを増す中、収益の確保とガバナンス・コンプライアンスの両立、企業価値のさらなる向上が課題です。こうした中、今後は本社による子会社の収支・コンプライアンス両面のチェック機能強化と資産の有効活用を進めるとともに、「連結売上高1兆円」を目指す企業集団をけん引する経営幹部の育成、将来を担う若手優秀人材の確保が重要です。継続的な成長に向け、これらの課題に対する前向きな議論と着実な実行を今後も期待しています。



社外取締役
今別府 敏雄

2013年7月 厚生労働省医薬食品局長、2014年7月 厚生労働省政策統括官、2019年6月 当社取締役（現任）

当社は医療関連のビジネスを軸に成長してきましたが、今後はその領域を環境分野にも広げつつあり、多様性を活かした事業展開に強みがあると考えます。取締役会では、複数の女性を含む社外役員が過半数となり、より多岐にわたる視点から活発な議論が行われています。いまは、進取の気性に富む創業メンバーから次世代へ、また拡大路線から内部統制を強化し組織の体力を高める方向へと移行する極めて重要な時期です。難局を経験することが人の成長につながると考えており、将来性を踏まえた適材適所や異業種を含めた人材交流もまた、今後の持続的な成長に向けて重要だと考えています。



社外取締役
伊藤 文代

2008年4月 厚生労働省医政局国立病院課看護専門官、2016年4月 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター看護部長、2019年6月 当社取締役（現任）、2025年9月 洛和会本部看護部門部長（現任）

当社の強みは、「生命を守る人の環境づくり」という基本姿勢が顧客価値に合致し、職員にも浸透していることだと考えます。取締役会では、会長・社長の強いリーダーシップと役員の幅広い見識・専門性により、活発で自由な議論が行われています。経営の健全性と透明性を確保し、現場のリスクマネジメントや、商品・サービスのイノベーションを推進する組織能力を高めることが重要です。また、事業ポートフォリオの中で、成長を促す事業と統合・縮小を進める事業を見極め、判断を長引かせず進める必要があります。多様な人材が活躍できる組織風土づくりと次世代リーダーの育成を期待しています。



社外取締役
西尾 信也

2016年4月 大和証券株式会社代表取締役副社長、2018年4月 株式会社大和インベストメント・マネジメント代表取締役社長、2021年4月 大和企業投資株式会社常勤顧問、同年6月 当社取締役（現任）

TPPを軸に、その他のセグメントと特徴ある52社のグループ企業群が連携する力が、当社の強みだと考えます。今後は、グループ各社へのガバナンス強化とビジョン共有による求心力の向上を両立させることが重要です。SHIP VISION 2030の実現に向けては、Well-Beingに沿った成長戦略の核となるM&Aの進捗やポートフォリオの見直しを、社外取締役として随時確認する必要があります。目先の利益追求に偏らず、将来収益への貢献を意識して業務に取り組めるよう、幹部社員への指導や、将来の会社のあるべき姿を考える研修など、人材育成の強化も必要だと考えます。



社外取締役
内山 由紀

1997年4月 大阪弁護士会登録、2018年6月 TMI総合法律事務所 大阪オフィス カウンセル就任（現任）、2023年4月 公認不正検査士（CFE）資格認定、2026年6月 当社取締役（現任）

本年より取締役に就任し、理解を深めている段階ですが、医療・介護・福祉を支え、現場の声に耳を傾けサービスを積み重ねてきた点に強みを感じています。取締役会では、率直に意見を交わせる雰囲気を感じています。持続的な成長には、コンプライアンス、リスク管理、内部統制を有機的に機能させるとともに、安心して挑戦できる組織づくりが重要です。弁護士としての視点を活かし、リスクを早めに見える化し、健全な挑戦を支えるガバナンスに貢献したいと考えています。「SHIP」に込められた姿勢を共有し、社会課題の解決に向け、自分事として主体的に挑戦し続けることを期待しています。